

講義名	解剖学実習
開講学年	2
単位	1

授業の達成目標	体の構造をイラストを通じて理解してもらう。各器官の働き、特徴を踏まえ、臨床栄養学に通ずる内容の理解を目標とする。
授業の概要	塗り絵で体の器官の構造、名称を理解する。
授業形式	講義

授業計画

回	項目	内容	キーワード・備考
1	神経・感覚系	眼の構造と働きについて	網膜・水晶体・視神経
2	神経・感覚系	鼻の中の構造と働きについて	鼻腔・臭細胞
3	神経・感覚系	耳について（三半器管、蝸牛の働きや構造について）	三半器管・蝸牛・聴神経
4	消化器系	口腔や食道の働きや構造について	口腔・歯・食道
5	消化器系	消化器系について（胃の働きや構造について）	胃・噴門・幽門・大弯・小弯
6	消化器系	消化器系について（小腸の働きや構造について）	十二指腸・空腸・回腸・絨毛
7	消化器系	消化器系について（大腸の働きや構造について）	盲腸・結腸・直腸・虫垂
8	消化器系	肝臓や胆のうの働きや構造について	肝臓・胆のう・門脈・総胆管
9	消化器系	膵臓について（外分泌や内分泌の特徴や構造について）	膵臓・外分泌・内分泌

1 0	泌尿器系	泌尿器系について (腎臓の働きや構造について)	糸球体・尿細管・腎盂
1 1	泌尿器系	泌尿器系について (膀胱や尿道の働きや構造について)	尿管・尿道・膀胱
1 2	呼吸器系	喉頭について(喉頭蓋、声門の動きについて)	喉頭蓋・声門・咽頭・喉頭
1 3	呼吸器系	肺について(肺動静脈、肺胞、横隔膜の動きについて)	肺動静脈・肺胞・横隔膜
1 4	循環器系	心臓について(冠状動脈の働きや血液の循環の仕方について)	冠状動脈・心房・心室
1 5	まとめ	解剖学実習まとめ	

事前・事後学習の内容	解剖学、生理学、臨床栄養学など関連する教科と並行して、予習・復習を行う
成績評価の方法	授業の出欠、学期末試験による総合判定 S・A+・A-・B+・B-・C+・C・Dで判定(Dは不合格)(S:90点以上、A+:85~89点、A-:80~84点、B+:75~79点、B-:70~74点、C+:65~69点、C:60~64点、D:59点以下)
参考書	ぬりえで学ぶヒトのからだ(ぱーそん書房)
教材	プリントの配布、色鉛筆